



島じゅんキャンプ

魅力発見エコツアー IN 周防大島

2023.12.23-12.25

みかん

×

フラ

×

自然

を遊びつくして、じぶんたちのツアーをつくろう！

主催：山口県教育委員会

後援：周防大島町、周防大島町教育委員会

企画運営：株式会社3in

目次

第1章	事業の概要	02
1	事業の趣旨	
2	実施プログラム	
第2章	事業の実際	04
1	プログラム内容	
2	参加者用しおりと活動の様子	
第3章	事業の効果	16
	参加者へのアンケート結果	
	(参考) プログラムの実施体制について	20

第 1 章

事業の概要



1 事業の趣旨

地域の特色を生かしたエコツアーを通して、自然環境や歴史文化等を体験しながら学ぶことで、自然や文化を守り未来への遺産として引き継いでいく活力ある持続的な地域をつくる人材を育成する。

2 実施プログラム

①第1回企画熟議

日時: 令和5年10月21日(土) 14:00から15:30まで

参加者: 山口県立大学生3名、周防大島高校生10名

会場: 山口県立周防大島高等学校 2階 中会議室

②第2回企画熟議

日時: 令和5年11月18日(土) 14:00から15:30まで

参加者: 山口県立大学生12名、周防大島高校生5名

会場: 山口県立周防大島高等学校 2階 大会議室

③エコツアー

日時: 令和5年12月23日(土)11:00から12月25日(月)11:50まで

参加者: 県内小中学生(22名)

主会場: 旧周防大島町立森野小学校

活動場所: 島内各所

宿泊場所: 片添ヶ浜海浜公園オートキャンプ場

第 2 章

事業の実際



1 プログラム内容

①第1回企画熟議

14:00 主催者挨拶

- ・エコツアーの目的、概要、熟議の目的を共有した。

14:05 自己紹介

- ・参加者全員が学校や地域の魅力紹介を含め、自己紹介した。

14:15 高校生による周防大島のコンテンツ紹介

- ・周防大島高校の生徒がエコツアーに適した島のコンテンツを提案し、以下のとおり整理した。

- ①みかん収穫・加工
- ②フラダンス鑑賞・体験
- ③無人島探索・アクティビティ

15:25 次回の連絡



②第2回企画熟議

14:00 主催者よりコンテンツ案の連絡

- ・前回熟議の報告を行い、3つのコンテンツ案を紹介した上で、熟議の目的を共有した。

14:03 自己紹介およびアイスブレイク

- ・AFPYの要素を採り入れたアクティビティにより、楽しく効率的な自己紹介を行った。

14:15 各コンテンツの紹介文とツアーの留意事項の作成

- ・3つのコンテンツについて、参加者用パンフレットに記載するタイトルと紹介文を作成した。
- ・運営者の立場でエコツアーを成功させるための要素をまとめ、言語化した。

15:15 成果のプレゼンテーション

- ・グループの代表が作成した内容をプレゼンテーションし、会場内の参加者に共有した。

15:28 振り返り

- ・生徒・学生の方々の主体的な取組によりツアーの根幹が完成したという成果を価値付けた。



③エコツアー

【12/23(土)】

11:00 開会式、オープニングイベント、仲間づくりアクティビティ(森野小学校)

12:00 昼食(お弁当)



13:00 班名発表、ツアーの説明、みかん鍋の説明、オリジナルみかん鍋調理会議



14:30 みかん鍋の食材リサーチ、おやつタイム(道の駅サザンセットとうわ、島津鮮魚店)



16:20 宿泊場所に到着(片添ヶ浜海浜公園オートキャンプ場)

16:30 焚火と焼き芋作り

19:00 発表会の準備

21:45 参加者就寝



【12/24(日)】

6:00 起床、健康観察、朝食、ツアーの準備

8:30 各ツアーに出発

A班: 農家様との交流・収穫・ジュース作り(安下庄地区)

缶詰デザイン作成(橘総合センター)



B班: フラダンス鑑賞、体験(周防大島高校)

オリジナルレイ作り体験(日本ハワイ移民資料館)



C班: 貝殻・小石収集(巖門周辺)、新宮島への上陸

クリスマスリース作製(橘総合センター)



15:45 みかん鍋の食材調達(道の駅サザンセットとうわ、島津鮮魚店、他)

17:00 宿舎に到着、みかん鍋調理



19:00 発表会の準備

21:45 参加者就寝、スタッフミーティング

【12/25(月)】

6:00 起床、健康観察、朝食

8:30 発表会リハーサル

10:30 発表会



11:30 閉会セレモニー

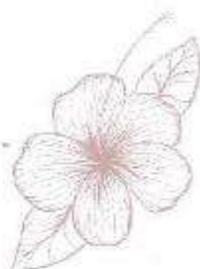


11:50 解散

2 参加者用しおりと活動の様子

12.23.SAT

DAY1



知る：みかん鍋キックオフ

11:00-12:00

@森野小学校

オープニング、仲間づくり

12:00-13:00

@森野小学校

昼食、交流

13:00-14:00

@森野小学校

ツアーの説明、みかん鍋の説明

14:00-15:30

@バス

道の駅に移動、おやつ

15:00-16:30

@サザンセット

みかん鍋の食材探し

16:30-18:00

@コテージ

コテージ前で焚き木

18:00-19:30

@コテージ

夕食、交流会

19:30-20:30

@コテージ

発表会の準備、ツアーの目的確認

22:00

@コテージ

就寝



開会セレモニー



仲間づくりの活動



道の駅でソフトクリーム



みかん鍋の食材探し



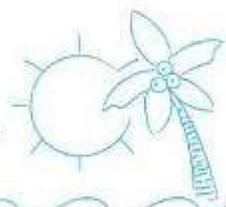
薪割りにチャレンジ



焚火で焼き芋

12.24.SUN

DAY2



感じる：エコツアーを作る

7:00-7:30

@コテージ

健康観察

7:30-8:30

@コテージ

朝食（弁当）、出発

9:00-15:00

@各会場

エコツアー

A班

9:00 宮ノ下保育園
隣接のみかん園で収穫体験
みかん農家のお話
10:30 みかんジュース作成、試飲
橋総合センターに移動（バス）
12:00 弁当
12:30 活動の説明、みかん缶詰の試食
13:00 缶詰パッケージデザイン作成
15:30 橋総合センターを出発（バス）

B班

9:00 同訪大島高校
フラダンスレッスン
11:10 橋総合センターに移動（バス）
11:30 弁当
13:00 日本ハワイ移民資料館（バス）
13:30 オリジナルレイ作成
14:00 レイをつけてフラ練習
15:00 資料館出発

C班

9:00 竜崎温泉駐車場
貝殻を拾いながら砂浜散策
9:30 巖門で貝殻や枝等を集める
11:20 橋総合センターに移動（バス）
集めたものをテーブルに置く
11:30 弁当
12:30 真宮島で島に渡って石を拾う
13:30 橋総合センターでリース作成
15:00 橋総合センター出発

15:45-16:45

@サザンセント

みかん鍋の材料調達

17:00-19:00

@コテージ

みかん鍋の作成、夕食、交流

19:00-21:30

@コテージ

発表会の準備、リハーサル

22:00

@コテージ

就寝



みかんの収穫体験



みかんジュース作り



フラダンスレッスン



オリジナルレイ作り



巖門で貝殻集め



集めた素材でリース作り



みかん鍋調理に挑戦



出来上がったみかん鍋

12.25.MON

DAY3



つなげる：エコツアーを提案する

7:00-8:00
@コテージ

健康観察、朝食（弁当）、出発

8:30-10:20
@森野小学校

発表会リハーサル

10:30-11:30
@森野小学校

発表会

11:30-11:50
@森野小学校

閉会セレモニー



早朝の海岸散歩



コテージの窓から



発表会



発表会



閉会セレモニー



全員でハイ、チーズ



Our Tours

わたしたちのオリジナルツアー

みかんパワーで「周防おいしい島」を救え！

A班

周防大島のみかん農家さんと一緒にみかんを収穫して、大島みかんの秘密を知ろう！みんなで発見したみかんの良さをたくさん詰め込んだまぼろしの缶詰のパッケージを描いてみよう！みんなのアイデアが、本物の商品になるかも？

レッツフラ！まだ知らない島の魅力を探そう！

B班

みなさん、フラダンスを知ってますか？聞くだけではわからない魅力がたくさんあるんです。今日は、フラダンスを丸ごと楽しんでもらうために、見て、知って、体験して、世界に一つだけのオリジナルレイを作ってみよう！

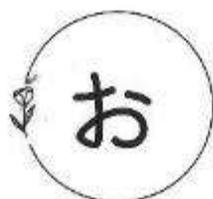
自分だけの虹を作ろう！浜辺のアドベンチャー

C班

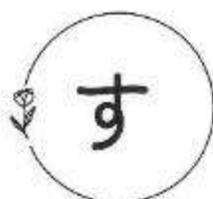
周防大島には幸せを呼ぶ岩がたくさんあります。1日に1度だけ渡れる無人島や浜辺を歩きながら、貝殻や木の枝を拾って、世界に一つだけのクリスマスリースを作ろう。小石がお宝に？ 永遠（とわ）の思い出を東和（とうわ）で！

Keys

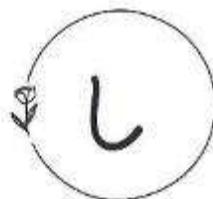
たいせつにしたいこと



おおくの友達と交流して
出会いを大切にしよう！



周防大島をたくさん
体験して魅力を見つけよう！



しっかりと時間と
約束事を守ろう！

第 3 章

事業の効果



1 参加者へのアンケート結果

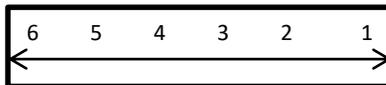
口質問をよく読み、自分にあてはまるかどうか、「とてもよくあてはまる」から「まったくあてはまらない」までの6段階で教えてください。

※合計得点の変化を視覚化。「IKR(生きる力)評定用紙(簡易版)」(国立青少年教育振興機構)による。

魅力発見エコツアー

魅力発見エコツアー2023

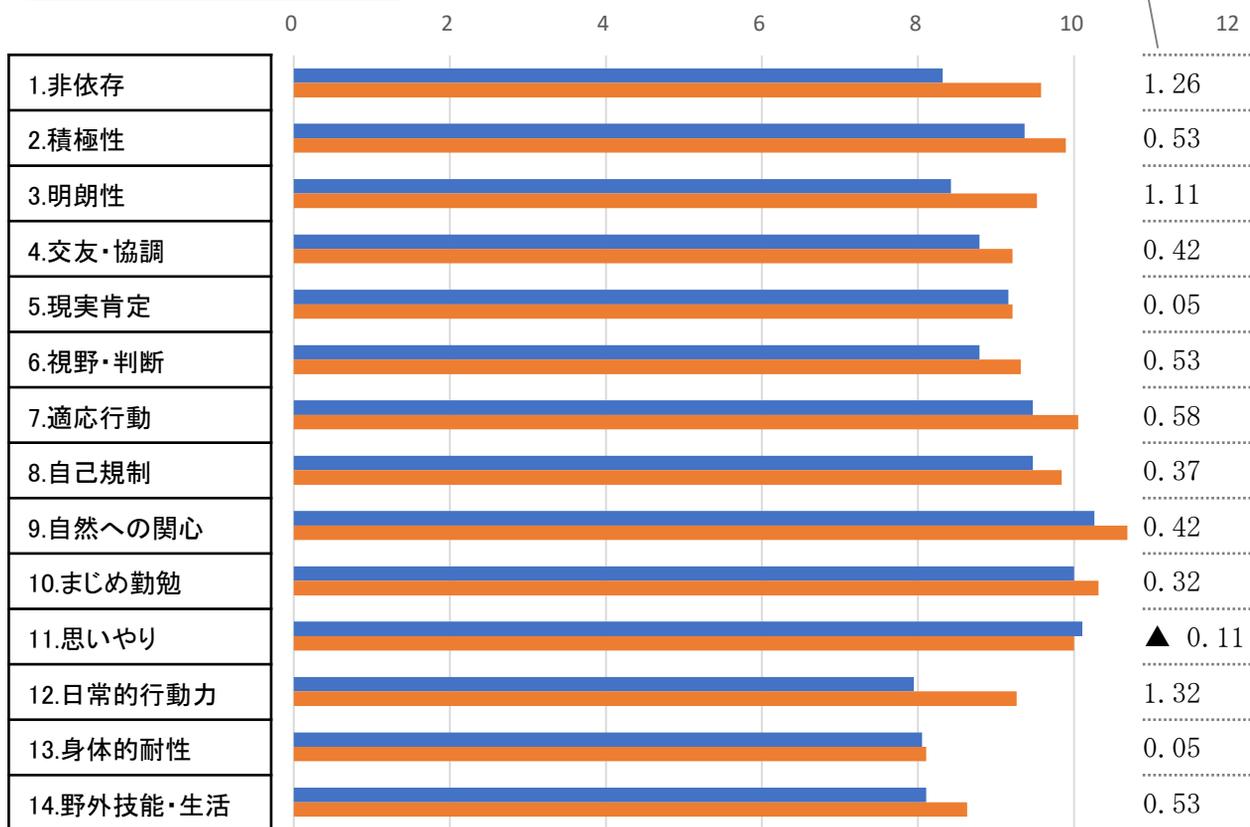
事前調査 12/23実施 (回収率 100%)
事後調査 12/25実施 (回収率 100%)



上段: 事前調査

下段: 事後調査

事後—事前



【考察】プログラムの事前から事後にかけて、「生きる力」の得点に7.3ポイントの上昇が見られた。因子別においても、「思いやり」を除く全ての因子で得点が上昇しており、特に非依存、明朗性、日常的行動力において、1ポイントを超える得点の上昇が見られた。

「非依存」の質問項目	<ul style="list-style-type: none"> いやなことは、いやとはっきり言える。 小さな失敗をおそれない。
「明朗性」の質問項目	<ul style="list-style-type: none"> だれにでも話しかけることができる。 失敗しても、立ち直るのがはやい。
「日常的行動力」の質問項目	<ul style="list-style-type: none"> 早寝早起きである。 からだを動かしても、疲れにくい。

プログラムを通して、規則正しい生活をしながら、初めて出会う仲間と初めての数多くの体験をすることで、他者と関わる意欲や新しいことへ挑戦する意欲が高まったと考えられる。また、積極性や視野・判断、適応行動の得点が0.5ポイント以上上昇していることから、時と場合に応じた振る舞いを考えながら、地域の講師や店員等、幅広い人と関わる社会体験プログラムとしての効果が感じられる。

魅力発見エコツアー 参加者事後アンケート

(自由記述。同じ内容はまとめました)

自分が成長したと思うこと

○コミュニケーションに関すること(10)

- ・知らない人とすぐに話せるようになったこと
- ・友達と話すのを積極的にするようになったこと
- ・自分より上の子にも下の子にも積極的に話したこと
- ・人と積極的に話せるようになったこと

○人との関わりに関すること(8)

- ・いろんな人と仲良くなれたこと
- ・だれにでもがんばってお礼の言葉を言ったこと
- ・あいさつが大きくなったこと
- ・人を警戒しなくなったこと
- ・人見知りがちよっと治ったこと
- ・仲間と一緒に遊んだこと

○生活技能に関すること(6)

- ・少しか料理ができるようになったこと
- ・料理の後片付けができるようになったこと
- ・薪を割るなどいろいろなことができるようになったこと

○自信・自律に関すること(5)

- ・自分への好感度が上がったこと
- ・自分で考えることができたこと
- ・大勢の前であまり緊張せずに発表できること
- ・失敗しても立ち直ること

○地域理解に関すること(4)

- ・周防大島の魅力を発見できたこと

○計画性・時間の意識に関すること(3)

- ・時間を守るようになったこと
- ・計画と時間をつなげて考えたこと

○思いやり・協力に関すること(2)

- ・人と協力することができるようになったこと
- ・みんなの気持ちを考えられるようになったこと

○表現力に関すること(2)

- ・発表するのが上手になったこと
- ・プレゼンを作成できるようになったこと



チャレンジ & エコツアーの思い出など(自由記述)

- ・家族のようにみんなが優しく接してくれた。
- ・普段できない(思いつかない)ことができた。
- ・自分が成長したと思うことを大切にしたい。

(小5女子)

全部が楽しかった。みんなと仲良くなれた。人のシーツを付けてあげることができた。龍神の塩がおいしかった。あいさつがしっかりできた。

(小5男子)

普段だと体験できないことをこのツアーでできた。例えば、みかん鍋を作ったり、みかんの収穫やジュースとジャムを作ること。友達と話すのを積極的にできるようになったから、学校でも生かしたい。

(中1男子)

みんな初対面とは思えないほど、最後にはすごく仲良くなって安心できた。2日目も仲良くなったおかげで、楽しくみかんについて知れたり、ジュースやジャムを作ることができた。体験では、みかんのジュースの違いやみかん収穫など普段では体験できないことが体験できてよかった。これからはできる限り失敗を恐れずに挑戦していきたい。

(中2女子)

- ・最初は緊張していたけれど、すぐに仲良くなれて嬉しかったです。
- ・みかん鍋を作るのと食べるのを初めてしたので、ワクワクしました。
- ・プレゼンを作成するのを頑張った。
- ・ジュースやジャムを作るのが楽しかった。

(小6女子)

人のことを考えて、行動することが大切だと思った。鍋の作り方が分かった。みんなと話すことができるようになった。この経験を生かして、時間を日頃から守れるようになった。人との協力やつながりの大切さを改めて思った。

(中1女子)

みんなと最初はあまり話せなかったけれど、最後はいっぱい話せた。料理した後は、後片付けをみんなと協力してしたこととか景色がきれいだったことが思い出に残った。

(中3男子)

最初はあまりみんなとしゃべれなかったけれど、段々仲がよくなっていったのが印象に残っています。年の差が結構あった班だったので、ここまで仲良くなったことにびっくりしました。キャンプファイヤーやリース作りをやったことがなかったので、いい経験になりました。

(中3男子)

なかなか話せなくても必ず仲良くなって楽しくできる。たくさん話しかけて、もっともっと友達を増やしていきたい。

(小4男子)

楽しかった。寒かった。よく笑った。おもしろかった。人と普段、あんまり話したり、関わったり、何か活動したりすることがないので、こういう体験はとっても新鮮だった。また、周防大島に来たいと思う。

(中2女子)

- ・みんなが進んで協力してくれたこと。
- ・野菜をもっと上手に切れるようになったこと。
- ・いろんなお手伝いをしようと思った。

(小4女子)

仲間と一緒に考えて、行動して、感動できてうれしかった。協力とかをするのが苦手で、気が進まないこともあったけど、このツアーでそれをする楽しさとかを知れてよかった。めっちゃ景色がきれいだったからまた来たい。

(小5女子)

動くことや料理が少し苦手だったけど、体験すると苦手なのを忘れるくらい楽しかった。

(小6女子)



(参考) プログラムの実施体制について

※株式会社3in(委託企業)作成



実施に係る体制

業務	担当
【総務、事業推進】	
総括、全体設計	岩本隆行(株式会社3in代表)
県教委との連絡調整	岩本隆行
【企画熟議】	
総括、設計、運営	岩本隆行、田口弦矢、株式会社3in経営企画室
全体プロデュース、シナリオ作成	岩本隆行、田口弦矢
資料作成、当日ディレクション	岩本隆行、インターンシップスタッフ(株式会社3in)
【エコツアー】	
総括、設計、運営	岩本隆行、田口弦矢、株式会社3in経営企画室
地元の方々との調整	岩本隆行
周防大島町との調整	地域連携教育推進課
宿泊、バス移動の調整	地域連携教育推進課
行程作成	岩本隆行、田口弦矢、地域連携教育推進課
シナリオ、スタッフ資料作成	株式会社3in、地域連携教育推進課
参加者用パンフレット、ポスター	株式会社3in
保健、医療機関との連携	地域連携教育推進課
当日ディレクション	株式会社3in、地域連携教育推進課
会計	地域連携教育推進課
【報告】	
報告書作成	岩本隆行

運営関係者

①第1回 企画熟議

所属	内訳
周防大島高等学校	生徒7名、片岡教頭先生他教職員2名
山口県立大学	学生3名、吉村副学長他教職員2名
地域連携教育推進課	高木課長他2名
株式会社3in	スタッフ3名

②第2回 企画熟議

所属	内訳
周防大島高等学校	生徒5名、大田校長先生他教職員2名
山口県立大学	学生10名、吉村副学長他教職員4名
地域連携教育推進課	小山副課長他3名
山口県教育委員	泉委員他3名
山口県教育庁 教育政策課	白井課長他1名
株式会社3in	スタッフ6名

③エコツアー

・エコツアー主催者、運営者

氏名	所属
高木 茂男	地域連携教育推進課 課長
小山 宏之	地域連携教育推進課 副課長
藤原 一	地域連携教育推進課 主査
上野 剛	地域連携教育推進課 社会教育主事
岩本 隆行	株式会社3in
田口 弦矢	株式会社3in
河口美智子	株式会社3in

・運営スタッフ

氏名	所属	備考
岩本 宗	株式会社3in	プロジェクトマネジャー
神原 由菜	株式会社3in	
佐藤 誠司	株式会社3in	
岩本 しの	株式会社3in	
原田 稔生	株式会社3in	

・ボランティアスタッフ

氏名	所属	学年
中田 雅治	周防大島高等学校	1
青井 知章	山口大学	2
加賀田 葵	柳井高等学校	1

・エコツアーに協力いただいた方々

氏名	所属	協力内容
長尾 健彦	長尾八幡宮宮司	全体調整、地元の方々の紹介
長尾 恵子	長尾八幡宮宮司奥様	みかん体験サポート、ジュース作り
山崎 浩一	周防大島観光協会会長	みかん鍋、地元の方々の紹介
江良 正和	観光協会事務局長	鍋用みかんの確保、情報提供
柳原 一徳	みかん農家	みかん収穫体験実施、講話
藤本 誠	みかん農家	みかん収穫の木の持ち主
大内 清香	大内バラ園経営者	レイ作成、講義
田部 芳枝	市民ボランティア	クリスマスリースの作成、浜辺の散策
朝隈 広行	橘総合センター館長	活動場所の確保
木元 真琴	日本ハワイ移民資料館館長	活動場所の確保
林 哲也	道の駅販売責任者	食材調達の支援、ソフトクリームの販売
大田 真一郎	周防大島高校校長	高校生の協力調整
片岡 直史	周防大島高校教頭	高校生の協力調整
中尾 淑乃	山口大学学長特命補佐	3inスタッフ（山口大学生）への理解協力
鷹岡 亮	山口大学教育学部長	3inスタッフ（山口大学生）への理解協力



令和5年度 地域と連携したリアルな体験活動充実事業

“島じゅうキャンパス”魅力発見エコツアー報告書

令和6年1月

山口県教育庁 地域連携教育推進課 青少年教育班
山口県山口市滝町1-1
電話 083-933-4650

※本事業は、文部科学省の令和5年度「体験活動等を通じた青少年自立支援プロジェクト」の委託を受けて実施しました。

